

特 集

機能温存と機能再建をめざした 消化器外科手術 術後 QOL 向上のために

近年の基礎的研究および診断・治療技術の進歩により，外科治療についても必要十分であり，かつより低侵襲な手術を行うという考え方のもとに医療が展開されています．しかし低侵襲手術であれ縮小手術であれ，外科手術では何らかの（または幾許かの）機能の喪失は避けられないことも事実です．そのため外科医には，手術による機能の低下を最小限に留めること，その機能を可及的に再建することが，術後の患者の QOL の点からも強く求められています．

本特集では，患者の術後 QOL の面から，まず総論で生理学および統計学的評価法を解説し，各論では各術式における機能温存もしくは機能再建法に関して，その適応，治療のコツ（動画も含めて），結果について解説していただきました．